（別記）

令和８年度安堵町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、ほとんどが平坦な地形であることから、水田が大部分を占めるため水稲を主とした農業が営まれているが、小規模兼業農家が大半を占め、野菜等は一部施設による栽培をされているが、ほとんどが自給的な少量多品目な栽培となっている。
また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稲作付面積の維持や転作作物の規模拡大が課題となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農業従事者の高齢化・減少が進んでいるが、一部生産団体の取組として、近隣市町村で作付されていない高収益作物への転換と定着化によって、産地名を冠したブランド化を協議会として推進していく。産地ブランド化を通じて農家・非農家を問わず若年層の新規参入に繋げるための支援を行う。

さらに不作付地についても、土地の借り手と農地所有者の間は、農地中間管理機構等を活用し、自治体や農業委員等が入ることで、生産性の向上につなげたい。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

機械が入りやすく、水路も設置され、生産性が高い水田で作付がされていない自己保全管理等については、自治体、各農業関係者が営農計画書等のデータ及び現地確認等の機会を有効利用して現況を把握し、既存農業経営者で管理面積に余裕があり経営規模の拡大意思のある生産者や新規就農者への作付誘導を図る。

農業従事者の高齢化・減少が進んでおり、不作付地（遊休農地等）の発生する可能性を防ぐため、現農業従事者の親族または知人等に承継されていくよう、自治体側も協力する。

また、転換作物の主軸となっている大豆については、土壌病害虫による連作障害の発生を防ぐため、水稲栽培を行う。水稲栽培を３年間継続することで、線虫密度はほぼ被害許容水準以下に低下し、収量の向上・安定にもつながるため、大豆・米のローテーションに取組む。

現在の利用状況等についても、各委員会・協議会等で確認していく。活用されていない水田、自己保全管理等は大字の農業従事者や関係者と協議する。

さらに農地台帳システムを活用して、台帳地目が田、現況地目が畑となっている場所をリスト化、現地調査を行い、所有者・耕作者に今後の意向調査をする。

さいごに一部の田については、作付が困難となってくると見込まれるが、担い手に集約できるようにし、営農組織によるブロックローテーションを基本に、地域の実情や品目ごとの需給状況を勘案し、大豆・米を組み合わせた作付け体系を推進し、水田の有効利用・高度利用に努める。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。
前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

（２）備蓄米

現在、地域にて作付けはない。今後、地域に充分な需要が見込めれば、生産者に作付けを推奨していく。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、需要に応じた米生産のため、飼料用米の作付けを推進する、また飼料用米の生産拡大にあたっては、産地交付金を活用した導入推進を図り、令和８年度には地域の水田面積の約１０%の導入を目指す。

イ　米粉用米

現在、地域にて作付けはない。過去に作付けがあった経緯から、地域に充分な需要が見込めれば、生産者に作付けを推奨していく。

ウ　新市場開拓用米

現在、地域にて作付けはない。今後、地域に充分な需要が見込めれば、生産者に作付けを推奨していく。

エ　WCS 用稲

現在、地域にて作付けはない。今後、地域に充分な需要が見込めれば、生産者に作付けを推奨していく。

オ　加工用米

現在、地域にて作付けはない。今後、地域に充分な需要が見込めれば、生産者に作付けを推奨していく。

（４）麦、大豆、飼料作物

大豆は適地適作を基本として、地域内直売施設等の多品目需要に対応するため、小規模農家で取り組める少量多品目の計画的な生産と、安定した出荷体制の整備を推進し、食糧自給力・自給率向上を図る。

（５）そば、なたね

現在、地域にて作付けはない。今後、地域に充分な需要が見込めれば、生産者に作付けを推奨していく。

（６）地力増進作物

レンゲを水稲用の緑肥として、収穫量の向上を図る。また、開花始期を過ぎると次作での肥料効果が小さくなるため、注意する。

（７）高収益作物

「大和いも」「大和ふとねぎ」「いちご」「さといも」の４品目を地域推進品目として拡大する。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	78.6		78.6		78.6	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	0.25		0.25		0.4	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	0		0		0	
加工用米	0		0		0	
麦	0		0		0	
大豆	1.65		1.65		1.65	
飼料作物	0		0		0	
・子実用とうもろこし	0		0		0	
そば	0		0		0	
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0.59		0.59		0.59	
高収益作物	10.73		10.73		10.73	
・野菜	8.91		8.91		8.91	
・花き・花木	0.08		0.08		0.08	
・果樹	1.45		1.45		1.45	
・その他の高収益作物	0.29		0.29		0.29	
その他	0		0		0	
・〇〇	0		0		0	
畑地化	0		0		0	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	新規需要米（飼料用米・米粉用米）	新規需要米（飼料用米・米粉用米）	作付面積拡大 労働時間の短縮	（７年度） 0ha 0時間/10a	（８年度） 0.4ha 48時間/10a
2	大和いも・大和ふとねぎ・いちご・さといも（基幹）	地域推進作物に対する助成	作付面積拡大	（７年度） 0.28ha	（８年度） 4.92ha
3	地域振興作物（別紙）（基幹）	地域振興作物に対する助成	作付面積拡大	（７年度） 0.29ha	（８年度） 5.81ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：奈良県

協議会名：　安堵町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	新規需要米（飼料用米・米粉用米）	1	6,000	飼料用米・米粉用米	対象作物の栽培に対する化学農薬の低減
2	地域推進作物に対する助成	1	25,000	大和いも・大和ふとねぎ・いちご・さといも（基幹）	出荷・販売を行う対象作物の作付面積に応じて支援。
3	地域振興作物に対する助成	1	25,000	地域振興作物（別紙）（基幹）	出荷・販売を行う対象作物の作付面積に応じて支援。

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

○産地交付金対象作物　　別紙

分類名		作物名	備考
地域振興作物	野菜	青さやインゲン、赤ネギ、赤毛ウリ、アケビ、アサツキ、アスパラガス、ウコン、ウド、ウマイナ、ウリ、エダマメ、エンドウ、オクラ、カブ、カボチャ、カラシナ、カリフラワー、カンショ(食用品種)、カンショ(アルコール原料用品種)、カンピョウ、クウシンサイ、キノコ、キャベツ、キュウリ、キク、クレソン、クワイ、コウタイサイ、コゴミ、ゴボウ、コマツナ、サニーレタス、サヤエンドウ、サラダナ、ザーサイ、シシトウ、シソ、ジネンジョ、シャクシナ、シュンギク(キクナ)、ショウガ、シロウリ、シロナ、スイカ、ズイキ、ズッキーニ、セリ、セロリ、タアサイ、ダイコン、タカナ、タマネギ、チンゲンサイ、ツルムラサキ、トウガラシ、トウガン、トマト、ナス、ニガウリ(ゴーヤ)、ニラ、ニンジン、ニンニク、ネギ、ノザワナ、ハーブ、ハクサイ、パセリ、パプリカ、ハヤトウリ、バレイショ(食用品種)、ピーマン、ビタミンナ、ヒノナ、ヒモトウガラシ、ヒラマメ、ヒロシマナ、フキ、フキノトウ、プチベール、ブロッコリー、ベンリナ、ホウレンソウ、マクワウリ、マコモタケ、マナ、ミズナ、未成熟トウモロコシ(スィートコーン)、ミツバ、ミブナ、ミョウガ、ミニトマト、メロン、モロヘイヤ、ヤーコン、ヤマトネギ、ユリネ、ヨモギ、ラディッシュ、ラッキョウ、リーフレタス、レタス、レンコン、レンザン、ワケギ、ワサビ、、その他野菜	
	花き	切花、花壇苗、鉢花、芝、その他花き、ハス	
	その他高収益作物	種苗類	